

2018-19年度EMC事業通信 No.3

2018-19年度EMC事業主任 小野 勲継(六甲部西宮)



EMCシンポジウム(フォーラム)各部で開催

7月の3回のEMCシンポジウム(例会を含む)に引き続いだて、各部においてEMCシンポジウムが開催され、熱い思いが語られました。

- ・8月24日(金)京都部 EMC シンポジウム(京都メルパルク5階ホール)
- ・8月25日(土)中西部 EMC シンポジウム(大阪木材仲買会館)

➤京都部EMCシンポジウム

京都部 EMC シンポジウムは山口雅也 EMC 事業主査の周到な準備の上、京都駅前のメルパルク5階ホールにおいて、各クラブから約60人弱のメンバーを集めて19時から開催されました。

まず最初に川上京都部部長よりご挨拶があり、さっそくシンポジウムが始まりました。まずワイズ将来構想特別委員会制作の「新生ワイズ起こし運動」のDVDを上映いただいた。当会館の設備は整っており、初めて音声が正式に聞けることになりました。(7月のシンポでは音声がうまく作動出来ず申し訳ありませんでした) その後、用意の資料をプロジェクターで写しだして説明いたしました。

その後、三科直前 EMC 事業主任から、前期解散を余儀なくされた福知山クラブの現状についてお話をありました。森田委員長、船木、三科両ワイズが福知山クラブの堀ワイズと話し合った結果によれば、福知山クラブは前期5名でスタートしたが、堀夫妻および連絡主事を除くあと2名のメンバーは高齢のため活動を継続出来ないとのことで、半年報を出されなかった。しかし堀ワイズはまだ継続の意欲があるので、とりあえず福知山は休会とし、再興の機会を狙いたいとのこと。しかし、休会という制度はないので、最寄の京都府フロンティアクラブに堀ワイズが再入会して、福知山クラブの再興を期すことになったとのことでした。

EMC シンポジウムはかつて京都部が発祥で、5年ほど前から西日本区全体でも開催されるようになった勉強会です。共通の認識と目標などを確認して活動のスタートとなるオリエンテーションもあります。従って出来るだけ部内の多くのメンバーに集まさせていただき、早期に開催して戴きたいものです。運営は各部の部長をはじめ、EMC事業主査、あるいは部EMC推進チームリーダーが中心になって部会や評議会などをを利用して開催していただいている。

資料では京都部・九州部のグループと、この2部以外の部との年齢格差が会員数との間に「捻じれ現象」を生じさせている事実を中心にお話ししました。京都部においては比較的年齢層が若く、そのあたりの課題は理解しづらいような雰囲気でした。部やクラブによって課題は一概に語れない点を目の当たりにして、その深刻さを改めて感じました。

その後テーブル毎のグループ討議を経て、質疑応答に入りました。会員数と年齢層の資料を説明したこともあり、高齢化の課題は部別で課題は分かれており、中々理解しづらいところがありました。予定では全クラブが現状を報告する予定でしたが、時間の関係で有志の方にクラブの現状をお話しいただきました。

終了後有志で近くの居酒屋で懇親の時を持ちました。懇親の時こそ EMC の話題は出そうなものですが、クラブが違うと意外に出ませんでした。



○中西部 EMC シンポジウム

引き続き翌日の25日(土)中西部 EMC シンポジウムが大阪市西区南堀江の木材仲買会館で開催されました。この日は40° 近くの暑い日で皆様よく集まって下さいました。入ってすぐの受付で大阪なかのしまクラブの皆さんのが墨書き手書きの名札を買って下さいました。せっかく谷部長が用意下さったプロジェクターの使い方が慣れず、正野ワイズらにお手伝いいただきスタートしました。

和田中西部 EMC 事業主査の周到な準備や中西部の皆様のご協力もあり、順調にスタート出来ました。最初に遠藤理事の挨拶の後、いつもの DVD の上映を行い、資料に基づいて説明しました。京都部の後ということもあり、年齢層と会員数の捻じれ現象を説明しました。また新規エクステンションのお奨めもお願いしました。西日本区発祥以来、中西部は急速に会員数を減らしており、大変深刻な状況にあります。全てのマザークラブの大坂クラブをはじめとして、ワイズの原点である中西部の再興はワイズ全体の回復の願いでもあります。

その後、ワイズ将来構想対策特別委員会の森田委員長に講演をお願いしました。かつて「ワイズ温泉浸かりばなし」をご披露された経験からご自身の50年ものワイズ歴から、現在西日本区がおかれている問題点の細部にまで詳細に説明されました。ワイズ将来構想特別委員会の設置由来や、他の団体ロータリークラブの例も併せて今西日本区のおかれている現状の危機感を訴えられました。

ご意見や質問を受けて第一部を終了しました。第二部は和田主査が用意下さった「皆で歌おう」と題した懇親の場です。比較的高齢化の目立つ中西部に合わせた歌として、「赤とんぼ」「故郷」などを和田主査の伴奏付で全員で歌いました。その後、小野が飛び入りで「故郷」の当たぶりを披露しました。神戸 YMCA のキャンプリーダー経験者である私からすれば「故郷」の当たぶりは定番というか、語り尽くされた古典に当り、「もういいや」と揶揄されるはずなのに、中西部では誰もご存知

ないのは意外であった。このようにして閉会を迎えました。最後に気づいたのですが、私のミスで、昨日の京都部と本日の中西部で、資料を逆に配布していました。気づいたのは閉会後のことでしたので、後日メールで修正のお詫びをお知らせすることにしました。



○今後の予定

9月 1日(土)九州部部会・熊本五福クラブ国際認証状伝達式(チャーターナイト)

9月 8日(土)阪和部 EMC シンポジウム・南大阪 YMCA

9月 9日(日)京都部部会・京都グランドプリンスホテル

9月16日(日)中西部部会・ホテルモントレ大阪

9月17日(月祝)阪和部部会・たかつガーデン

9月22日(土)六甲部部会・神戸 YMCA+六甲荘

9月29日(土)西中国部部会+西中国部 EMC シンポジウム/ホテルヴァンコーネル

10月6日(土)中部部会・アイリス愛知

10月7日(日)-8日(月祝)瀬戸山陰部部会・塩田温泉夢乃井

10月初旬 第2回 EMC 事業委員会

10月20日(土)-21日(日)次期役員研修会

11月4日(日)びわこ部部会・草津エストピアホテル

11月10日(土)-11日(日)第2回西日本区役員会

○7月分 EMC 集計表で揃う

今期の予定では各クラブは毎月5日までに EMC 集計表を提出いただき、10日までに主査から主任に提出をいただき、15日にはHPにアップする手筈になっていました。それが大幅に1か月半遅れてようやく揃いました。1クラブでも揃わないと公開出来ない苦渋の選択であります。今後は皆様、遅れないよう毎月5日までに必ず締めの数字を送って下さい。

さて、今期はご存知の通り、例会を充実させてゲスト・ビジターを多く招いていただき、その中から将来ワизメンとして育つ人材を発掘していきたいという目的で、「NGT98 作戦」を掲げました。「N賑やかな例会に、G元気で若々しく、T楽しいお友達を、98人お招きしましょう」というものです。そのためにはゲスト・ビジターを数多く集めていただくこの充足率を高めることが必要です。会員が増加しないと低調で元気のない例会を繰り返すのではなく、多くの仲間を集めてまずは、出席率、充足率を高めていきましょう。その内、その中から新しい人材を発掘出来るものと信じます。まずはおともだちを連れてきましょう。

7月のKICK-OFFの報告を拝見しますと、(A)20人以上のクラブ(31クラブ)と、(B)20人未満のクラブ(51クラブ)に分けてみますと以下のような傾向がありました。

	在籍数	算定数	出席数	出席率	GV数	総出席数	充足率
A	28.32 人	27.10 人	22.03 人	81.31%	4.52 人	26.94 人	95.10%
B	11.76 人	11.06 人	9.04 人	81.74%	5.75 人	16.35 人	139%
総計	18.02 人	17.12 人	13.95 人	81.48%	5.28 人	20.35 人	112.92%

以上のような傾向があります。出席率はいずれも81%代で変わりありませんが、充足率が明らかにB即ち20未満のクラブの方が勝っているのです。ゲスト・ビジターの数もBの方が上回っているのです。これはどういうことかと言えば会員数の少ないクラブの方がゲストやビジターを多く招いて例会を盛り上げているのだということです。会員数の多い少ないは関係なくゲスト・ビジターを多く招いて将来の会員発掘に心がけて頂きたい。あなたのクラブはメンバーだけで細々と例会を持っていませんか？やり方一つで例会に賑わいを持つことは可能です。是非お友達をお連れしましょう。そして賑やかで楽しい例会にして下さい。Aの方が内々で例会を持っていて、Bの方が対外的に交流を図っていることが分かります。会員数の多い、少ないではないのです。

これには合同例会や他のクラブを訪問することで視野を広げることになります。それは引いては、他の部会、西日本区大会、アジアSP地域大会、国際大会と広がっていくことでしょう。

充足率を見ますと部別では、①阪和部(146%)、②びわこ部(140%)、③九州部(132%)が貢献されています。クラブ別では①草津(391%)、②京都東陵(373%)、③熊本ネクサス(370%)、④姫路、熊本スピリット(238%)、⑥大阪堺、熊本にし(209%)、⑧大阪長野(186%)、⑨大阪サウス(175%)、⑩熊本水前寺(168%)が貢献されています。皆さんも是非ゲスト・ビジターをお招き下さい。また他のクラブ、他の部にも出かけてみましょう。きっとあなたの成長になるし、よき交流が図られますよ。

手前みそですが、私は自宅は大阪の茨木で、仕事は京都、クラブは西宮で教会やYMCAは神戸です。2月と11月は自宅のある茨木クラブの例会にも出ていますし、大阪や神戸の例会にも出ています。西日本区の役員になってからは、未開拓であった京都のクラブにも出ることが出来るようになりました。あなたはどれだけ他のクラブの例会に出ておれますか？その中でどこに出てもおられる方は、「大阪なかのしまクラブ」の今井利子ワイスにはかないません。高齢でありながら、お元気にどこにも出ておられるのです。参りました！NGT万歳！